



ヤマザキYショップ 総領原店

(有)総領スーパー コンビニエンスストア/広島県庄原市

折り込みチラシ町内
550部4950円の小商圈

「人柄」を伝えて「選ばれる店」に!

😊あ〜住めば都 総領原は、え〜ところ😊

田舎暮らし日々の生活を快適に 笑顔と潤いをお届けする楽しい お店ヤマザキYショップ 総領原店

のんきな店長 新住奈子(はらかなこ)
ニックネーム: かこちゃん宛 血液型: 不明
誕生日: 1/22 星座: みずがめ座
住まい: 総領町 家族: 両親
趣味: お花・料理・読書・映画

こんにちは、店長のかこちゃんです。2018年今年は、沢山映画を観て、沢山本を読んで、めっちゃお仕事を楽しむことを目標にしています。最近観た一押しの映画は、『キングスマン』です。今年一番最初に観た『しあわせはどこにある』も良かったです。今度、『グレイテスト・ショーマン』を観たいと思っています。お薦めの映画があれば、教えてください。本は、読もうと思っただけで買っていないので、時間を取って読みたいと思っていますが、なかなか…。平日お店に参らないことが多いので、お客さんに、また店長がサボるとんか〜と言われるようですが、そこまでサボってはいません!!!

お店のお仕事以外に週1回世帯間の教室でお花のアレンジメントのレッスンをしていたり、用事があって参らないことが多いです!!!

今月は、夏休みの20日夏休みが、私の出張のため、お店の開店時間が遅くなって、夏休み期間となります。ご不便をおかけしますが、よろしくお願い致します。

こんにちは、スタッフのなみさんです。常連のお客さんは、薄々お気づきのことと思いますが、うちの店長(姉)は、うっかりミスや物忘れが多く、発注ミスをして、お弁当やおむすび、サンドイッチ等が入庫しない日が月に1度くらいは必ずあります!!!

自分でも自覚して、気をつけているのですが、基本的に、あまり人の話を聞いていないという、困ったものです。そんな時でも笑って許してくれる優しいお客さん、いつもありがとうございます。

そんなわけで?パコ、魚、菓子、アイス、食品など、段々仕入の発注業務を私が担当する比重が高くなっているような気もしますが、...

3月1日から、福ビールの価格が値上がりしています。

4月1日から、1部の日本タバコの価格が値上がりします。当店取り扱いの商品では

「わかば」が360円に
「エコー」が380円に変わります。

宅配担当 井川幸江(いかわさちえ)
ニックネーム: さちえさん 血液型: AB
誕生日: 7/20 星座: かに座
住まい: 三次市三宅町 家族: 旦那様、3人の子ともや孫が盛りだくさん

こんにちは、スタッフのさちえさんです。山を2つ越えて総領町までしているの、夜遅くなって帰ると、鹿と遭遇するので要注意です!!!

主人も私もガラケーなのですが、そろそろ新しい替え替かたあ〜と先日、初めて主人と一緒にスマホ教室に行きました。スマホデビュー一歩前中です。スマホも最初慣れるまでは、時間がかかりそうですが、やってみると案外できるのかもかもしれません。

結婚して以来ずっと専業主婦で働きに出たことがなかった私が60歳になって、ヤマザキYショップで働くことに!!!最初はどうかと心配はしていましたが、今は、時給が上がりそうですが、やってみると案外できるのかもかもしれません。

結婚して以来ずっと専業主婦で働きに出たことがなかった私が60歳になって、ヤマザキYショップで働くことに!!!最初はどうかと心配はしていましたが、今は、時給が上がりそうですが、やってみると案外できるのかもかもしれません。

何かいい事あるかも〜何かいい物あるかも〜裏面もご覧ください! ➡



売り込みよりも、店のスタッフに関心を持ってもらうことが大事だと考えて作製している。表面を読んでも裏面を見ても、単なる物売りの情報チラシではない意味を持たせている



製作者
原 加奈子店長

チラシの狙いは、「どんな人がやっているお店か」を伝えて親しみを持ってもらうこと。店内の様子を伝えて来店ハードルを下げるのが目的。お客さまからは「チラシが面白い」と言ってもらえています。チラシの掲載商品を購入してくれる人もおり、来店客数も若干増えました。

新聞折り込み用550部で4950円(1枚当たり紙代3.5円、印刷代2.5円、折り込み代3.0円)、店内手配り用20部180円の費用で客数と売上げがアップ

審査委員長 佐藤勝人 評

コンビニでも個人をアピールしていく時代。SNSの活用も増える中、チラシを使ったニューズレターバージョンだが、これからはこうした融合が増えていく。この店は、チラシを出し続けることで近所の新規客を増やしている。地方の小商圈ではチラシが特に重要な役割を果たしており、紙媒体を再度見直すべきと気付かせるチラシだ。

審査委員 山田文美 評

朝刊折り込みですが、部数わずか550枚ということを見ると、折り込みチラシの寿命を延ばすにはこういうところがもっと残らないといけないと思います。人口が減ってもチラシを広げていくには、こうした取り組みの継続が必須。小商圈の店に特に参考にしてほしい事例。この規模でこのコストなら、チラシ作製の初心者でも取り組みやすいと思います。

一般社団法人日本新聞折込広告業協会 専務理事 飯島博 評

新聞折り込み広告では、お得な買物情報を届けるスタイルが主流ですが、これは「笑顔と潤い」を届ける「気持ち」を伝えて、地域に暮らす方々との関係をより良いものにしようとする姿勢がうかがえます。こうした取り組みが共感を生み、結果として息の長い商売につながることも、十分あり得るのではないのでしょうか。